

## 施策データシートの見方について

このデータシートは、第5次総合計画前期基本計画がスタートした平成23年度(2011年度)から平成26年度(2014年度)までにおける、各施策担当課および各事務事業担当課が行った「行政評価(事前評価・事後評価)」の評価情報を掲載することにより、各63施策の前期基本計画期間中の総括評価を行う上での参考資料として活用して頂く為のシートです。

### 1. 施策評価の推移(見本データシート内①～④の吹き出し)

平成23年度(2011年度)から平成26年度(2014年度)の期間中の各施策担当課が行った行政評価の評価情報を掲載しています。

平成23年度(2011年度)から平成25年度(2013年度)までの3年間は、「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標(施策の成果指標)」の計画値の達成状況と、施策の展開方針に対する実績状況を加味した総合評価情報(※1 評価点A～D)と各実績コメントを掲載しています。

平成26年度(2014年度)については、計画段階での施策の展開方針を掲載しています。

また、本市では毎年度、総合計画を着実に実現するため、社会状況、市民意識の動向等を踏まえ、力を入れるべき施策を「重点施策」としており、重点施策に該当した年度には【○】で表しております。

※1 施策総合評価点 A～Dの評価の考え方は資料3-3をご参照ください。

### 2. めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標(見本データシート内⑤～⑥の吹き出し)

各施策に掲げる「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標(成果指標)」の総合計画策定時の初期値、各年度の計画値・実績値等の推移と、総合計画に掲げるH27年度とH32年度のめざす値を掲載しています。

めざす値のH27年度の実績値欄に入っている見込み数値により算出された平均達成率が、施策評価シートの「総合評価」欄の評価根拠数値となります。

H26年度の実績値については、市民意識調査の割合を指標数値としているものを除き「-」としています。

### 3. 施策の体系と施策構成事務事業の推移(見本データシート内⑦～⑩の吹き出し)

施策を構成する事務事業について、取組み項目ごとに事務事業を掲載し、重点施策の実現に効果的であると考えられる事業である「重点取り組み」となった事業に「○」を付けています。

その他に、資源配分(計画額)の状況や、各事務事業の当該年度における方向性(※2 前年度と比較して、事業内容を拡大するのであれば「拡大」、前年度と同規模の内容での実施であれば「継続」など)と、事務事業担当課が行った当該年度末に行った事後総合評価結果(※2 評価点A～D)について、掲載しています。

※2 「拡大」・「継続」・「その他」・「廃止/休止」・「終了」などがあります。「その他」は他の事務事業との統合や分離など事務事業の進め方に動きがある場合に該当します。

※3 事務事業総合評価点 A～Dの評価の考え方は資料3-3をご参照ください。

施策データシート

資料3-2

施策2 安心を高める防災力の強化

①各年度の重点施策となっていれば「○」が付いています。

②各年度の施策総合評価を掲載しています。※評価の基準は別紙を参照。

③H23年度～H25年度までは施策の展開方針に対する実績コメントを掲載しています。

④H26年度のみ計画の情報を掲載しています。

1. 施策評価の推移

年度	H23	実績 H24	H25	計画 H26
重点該当	○	○	○	○
評価結果	B	B	B	-
評価結果 (H26は施策の展開方針)	<p>防災行政無線整備及び防災備蓄の充足については、指標の計画値を達成し、今後も中長期的な観点から計画する事業を織り交ぜながら、より一層スピード感を持って継続実施する。</p> <p>また、市民が主体である自主防災組織の組織率や災害に対する取り組みを行っている市民の割合については、一定の実績値を示したものの目標値には及ばなかった。今後の指標達成に向けた方向性として、「減災」を目指した地域コミュニティ主体の自助・共助の重要性を粘り強く啓発し、計画値達成を図り施策を展開していく。</p> <p>「地域とともに歩む減災」をめざし、国等における防災基本計画の改訂に合わせて市の地域防災計画の改訂を行った。また、災害時の情報伝達体制の強化を図るため、防災行政無線のデジタル化に合わせて市内全域にトランペットスピーカーを増設するとともに防災行政無線(携帯型)の指定避難所への配置を完了させた。さらに、地域防災計画において位置づける各種計画事業を進めた。</p> <p>各指標の達成については概ね向上傾向にあるが、「自主防災組織の結成率」については世帯数の減少等で低下した。未結成地域への結成促進を継続して実施する。</p> <p>引き続き、安心を高める防災力の強化に向け、地域防災計画に基づき「災害に強いまちづくり」に取り組む。</p> <p>災害に対する自助・共助を実施するため、改正された災害対策基本法の内容を盛り込んだ八尾市地域防災計画の部分修正を行うとともに、地域住民参加型の総合防災訓練実施した。また、自主防災組織の育成支援や結成支援を適宜行い、未結成地域の新規組織立ち上げを支援した。</p> <p>今後は、上位計画である大阪府地域防災計画改訂や南海トラフ巨大地震の被害想定等を踏まえた八尾市地域防災計画の改訂を行うとともに、災害情報のICT化にも取り組む必要がある。指標については、自主防災組織の組織率と防災に対する取り組みを行っている市民の割合について低下が見られることから、多角的に取り組む必要がある。</p> <p>国の災害対策基本法および大阪府の被害想定内容を踏まえ、地域防災計画を改訂します。</p> <p>さらに、地域とともに歩む減災をテーマに、地域防災計画に基づく各種災害に対する予防対策、応急対策並びに復旧・復興対策がこれまで以上に援護を必要とする方へ配慮し、有効に機能するよう取り組みを進めます。また、激甚災害に備え、個人レベルでの「自助」および地域レベルでの「共助」がスムーズに実施できるよう、自主防災組織の結成促進および既存組織への活性化支援を引き続き行い、避難所の自主的な運営を担う小学校単位での活動が有効に機能するよう、取り組みを進めます。</p> <p>また、防災中核拠点としての庁舎の機能更新に着手し、情報システム等で災害情報をICT化することで迅速化と効率化を行い、発災時にいち早く復興に向け乗り出せるよう、市民の生命および身体を守る「減災」に取り組めます。</p>			

資料3-3  
【施策評価】に関すること

2. めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標

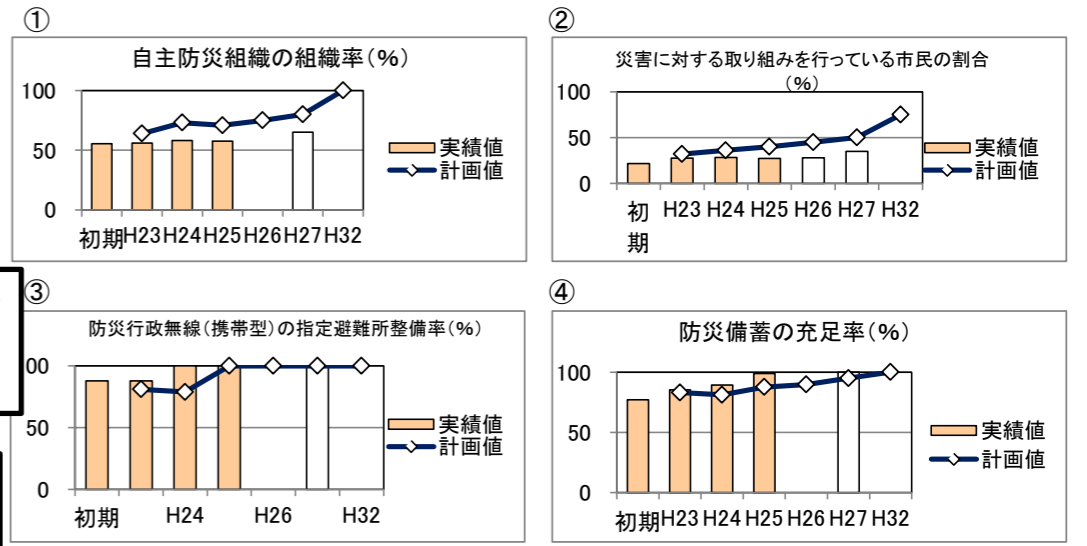
指標(単位)	初期値	推移				めざす値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28
① 自主防災組織の組織率(%)	計画値	64.0	73.1	70.8	75.0	80.0	80.0
	実績値	55.4	58.2	57.5	-	67.3	67.3
	達成率	87.7%	79.6%	81.2%	-	84.1%	84.1%
② 災害に対する取り組みを行っている市民の割合(%)	計画値	32.0	36.0	40.0	45.0	50.0	75.0
	実績値	21.6	28.4	27.3	28.1	35.0	35.0
	達成率	85.9%	78.9%	68.3%	62.4%	70.0%	46.7%
③ 防災行政無線(携帯型)の指定避難所整備率(%)	計画値	81.0	78.9	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	88.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
④ 防災備蓄の充足率(%)	計画値	83.0	81.1	87.7	89.7	95.0	100.0
	実績値	77.1	85.3	89.3	98.9	-	100.0
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
平均達成率		93.4%	89.6%	87.4%	-	87.8%	87.8%

めざす値の水準について  
自主防災組織により継続的に自立した訓練などが実施され、市民の防災意識が向上している状況をめざします。

各家庭での災害に対する取り組みが地域の防災力の向上に結びついている状況をめざします。

⑥H27年度の各指標の実績見込値より算出した平均達成率が、施策評価シートの「総合評価」欄の評価根拠数値となります。

⑧各年度の予算額を掲載しています。(※単位:千円)



(注)H27の実績値欄は、「見込値」とする。また、H26の実績値欄は市民意識調査を指標としているものを除く。

3. 施策の体系と施策構成事務事業の推移

施策の体系	施策構成事務事業	H23		H24		H25		H26	
		重点	計画額	重点	計画額	重点	計画額	重点	計画額
1 防災体制の整備・充実	地域防災計画推進事業	○	1,514	○	26,015	○	24,828	○	13,797
	災害時情報伝達体制強化推進事業		3,271	○	5,605	○	6,605	○	33,937
	防災行政無線(携帯型)の整備		38,353		47,867		47,833		51,500
	自主防災組織の育成事業	○	13,911		12,654		11,979	○	
	地域安全・安心のまちづくり基金事業		10,129		10,066		7,566		
	防災訓練事業		1,148						
	災害支援基金活用事業		50,840						
2 災害に強いまちづくり	庁舎管理事務		212,759						
	庁舎機能更新事業		195,640	○					
	八尾南高校跡地活用事業		0		0	-	-	-	-
	(仮称)若林地区水防拠点整備促進事業		2,237	○	0		0		0
	防災関係事務		9,697		10,516		12,299		12,637

(注)「-」は、当該年度に事務事業が存在しない。

施策の体系	施策構成事務事業	H23		H24		H25		H26	
		事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後
1 防災体制の整備・充実	地域防災計画推進事業	拡大	A	拡大	A	拡大	A	拡大	A
	災害時情報伝達体制強化推進事業	継続	B	継続	A	拡大	A	拡大	A
	防災行政無線(携帯型)の整備	拡大	B	継続	A	継続	A	継続	A
	自主防災組織の育成事業	拡大	A	継続	A	継続	A	継続	A
	地域安全・安心のまちづくり基金事業	継続	A	継続	A	継続	A	継続	A
	防災訓練事業	拡大	A						
	災害支援基金活用事業	拡大	A						
	庁舎管理事務	継続	A						
	庁舎機能更新事業	継続	A						
	八尾南高校跡地活用事業	継続	A	継続	A	終了	-	-	-
(仮称)若林地区水防拠点整備促進事業	継続	A	継続	A	継続	A	継続	A	
防災関係事務	継続	A	継続	A	継続	A	継続	A	

⑨各年度における事務事業の方向性を掲載。(※前年度末に翌年度の方向性を決めていきます。)

⑩事務事業担当課が行った事務事業の総合評価結果を掲載。(※当該年度末に評価した結果となります。)

資料3-3  
【事務事業評価】に関すること

(注)「-」は、当該年度に事務事業が存在しない。

◆施策及び事務事業における、総合評価点の基準について

施策における総合評価点(A～D)、事務事業における総合評価点(A～D)については、以下の基準に基づき、各評価者により判定しています。

【施策評価について】

◆施策の総合評価の基本的な考え方

施策の総合評価欄には、施策の成果指標の達成度及び「施策の展開方針」に対する実績をもとに、評価結果を A～D で表示しています。また、評価の詳細内容については、指標の達成状況の分析や基本方針に沿った展開が図れたか、今後の施策の抱える課題や方向性について、記述しています。

以下に、評価の基準についてお示します。

<p>施策の総合評価</p>	<p>※<u>施策成果指標の達成度ですまは判断したうえで、「施策の展開方針」に対する実績を加味し、総合評価を確定しています。</u></p> <p>A:「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標」計画値を達成した。施策の展開方針に沿った展開が図れた。          B:「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標」計画値を概ね達成(8割程度を目安に)でき、施策の展開方針に沿った展開が図れた。          C:「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標」計画値を概ね達成(8割程度を目安に)できたが、施策の展開方針に沿った展開が図れなかった。          D:「めざす暮らしの姿の実現を測定するための指標」計画値をほとんど達成できなかった。</p>
<p>指標の達成状況の分析、          施策の展開方針に対する実績、          今後の課題・方向性</p>	<p>総合評価の補足説明として、指標の達成状況の分析、施策の展開方針に対する実績、今後の課題・方向性等を記載します。</p>

【事務事業評価について】

◆事務事業評価の基本的な考え方

施策を構成する各事務事業の事後評価欄には、事務事業の総合評価結果をA～Dで表示しています。総合評価ランクについては、「妥当性評価」・「有効性評価」・「効率性評価」・「参画と協働のまちづくり推進度評価」の4つの観点における評価をもとに、下記のとおり、加点方式で算出しています。

【総合評価の算出方法について】

点数配分による手法と論理による場合分けを行う手法を組み合わせ、算出します。

・総合評価算出式(※ただし、妥当性評価A～Dを総合評価の上限とします。)

$$\text{有効性評価配分点数 } 60 \text{ 点} \times \text{評価係数 } A \sim D(1 \sim 0.4) + \text{効率性評価配分点数 } 10 \text{ 点} \times \text{評価係数 } A \sim D(1 \sim 0.4) + \text{参画と協働のまちづくり推進度評価配分点数 } 30 \text{ 点} \times \text{評価係数 } A \sim D(1 \sim 0.4) = \text{総合評価 } A \sim D(\text{総合評価点は } 100 \text{ 点満点で計算})$$

・総合評価の基準

A:80 点以上 B:70 点以上 80 点未満 C:60 点以上 70 点未満 D:60 点未満

※妥当性評価の論理(妥当性評価は、算出式とは別の方法で総合評価に組み込んでいます。)

妥当性評価については、事務事業の必要性や市の関与の妥当性を評価しているため、この評価結果が上限となるようにしています。

なお、事務事業評価の各観点(「妥当性評価」・「有効性評価」・「効率性評価」・「参画と協働のまちづくり推進度評価」)については、以下の基準で評価を実施しています。

評価点	<p>事務事業実施内容を振り返り、評価観点を参考に評価しています。</p> <p><b>【妥当性評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズ等を考慮して、事務事業の実施は妥当であったか。</li> <li>・市の関与や役割分担を見直す必要はないか。</li> </ul> <p>A: 市民ニーズを考慮して、事業実施は妥当であった。 市の関与や役割分担を見直す必要はない。</p> <p>B: 市民ニーズを考慮して、事業実施は概ね妥当であった。 市の関与や役割分担を見直す必要はほとんどない。</p> <p>C: 市民ニーズを考慮して、事業実施はあまり妥当ではなかった。 市の関与や役割分担を見直す余地がある。</p> <p>D: 市民ニーズを考慮して、事業実施は妥当ではなかった。 市の関与や役割分担を見直す必要がある。</p>
	<p><b>【有効性評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす暮らしの姿を実現するうえで、有効な事務事業であったか。</li> <li>・指標の目標どおりの実績が達成されたか。実績値の伸びはあったか。目標(予測)に実績値が近づいているか。</li> </ul> <p>A: 指標計画値を達成した。 施策の「めざす暮らしの姿」を実現するうえで、有効な実績をあげた。</p> <p>B: 指標計画値を概ね達成した。(8割程度を目安に) 施策の「めざす暮らしの姿」を実現するうえで、概ね有効な実績をあげた。</p> <p>C: 指標計画値は、あまり達成できなかった。(6割程度の達成を目安に) 施策の「めざす暮らしの姿」を実現するうえで、あまり有効ではなかった。</p> <p>D: 指標計画値は、全く達成できなかった。 施策の「めざす暮らしの姿」を実現するうえで、有効ではなかった。</p>
	<p><b>【効率性評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストは節減できたか。</li> <li>・フルコストにおける受益者負担(補助)割合は適正か。</li> <li>・実施の手法は最適か。</li> <li>・業務の執行体制は効率的か。</li> <li>・同種・同類の事務事業を行っていないか。</li> </ul> <p>A: 有効性を落とさずにコスト節減ができ、効率的な事業実施ができた。</p> <p>B: 有効性は若干落ちたものの、コスト節減は実現できた。</p> <p>C: 前年度並みの効率性を維持した。</p> <p>D: 効率性が、前年度の事業実施に比して落ちてしまった。</p>
	<p><b>【参画と協働のまちづくり推進度評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例の趣旨に基づき、市民との協働の取り組みを進められたか。</li> <li>・地域分権の推進に寄与したか。</li> <li>・情報公開を進め、透明性を高められたか。</li> </ul> <p>A: 取り組みを進められた。透明性を高められた。</p> <p>B: 概ね取り組みを進められた。透明性を一定程度高められた。</p> <p>C: あまり取り組みを進められなかった。あまり透明性を高められなかった。</p> <p>D: 取り組みを進められなかった。透明性を高められなかった。</p>